



10月ほけんだより

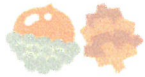


松山市 保育・幼稚園課

令和4年 第7号

屋間は、汗ばむ日もありますが、朝夕はぐっと冷え込むようになりました。季節の変わり目で、体調を崩しやすい時期でもあります。感染症予防のためにも引き続き、手洗い・うがいを続けていきましょう。

また、秋には栄養豊富な食べ物がたくさんあります。旬の食材をいろいろ食べて、感染症に負けない元気な体づくりを心がけましょう。



《10月10日は目の愛護デー》



2つの10を横に倒すと、まゆと目の形に見えることから、10月10日は目の愛護デーとされています。乳幼児期は、子どもの目がもっとも育つ時期。この機会に、ご家庭でも、子どもの「目」の健康をあらためて見直してみましょう。

3歳児健康診査（3歳児健診）は、疾病の早期発見や目の発達を知るために、とても大切な健診です。現在、松山市の3歳児健康診査を集団健診から個別健診（登録医療機関）に変更し、実施しています。必ず、受診するようにしましょう。気になる症状がある場合には、医師に相談するようにしましょう。

お子さんにこんな様子がみられたら

要注意！

- ・テレビや絵本に近づいて見る
- ・明るい戸外でまぶしがる
- ・目を細めて見る
- ・目が寄っている
- ・見る時に首を曲げたり、頭を傾けたりする



このような様子が見られたら、弱視や斜視の可能性が考えられます。大人が普段から気をつけてあげるようにしましょう。



《気になる感染症情報》



《インフルエンザ》

一般社団法人 日本感染症学会 参照

① 2022-2023年シーズンは、インフルエンザの流行の可能性が大きいです

過去2年間、国内での流行がなかったために、社会全体のインフルエンザに対する集団免疫が低下していると考えられます。そのため、一旦感染がおこると、特に小児を中心に社会全体として大きな流行となるおそれがあります。

② 香港型の流行が予想されます

中国では、今年になってA香港型が増加しています。また、オーストラリアで検出されたウイルスの型が判明したもののうち、約80%がA香港型でした。そのため、わが国でもA香港型の流行が主体の可能性あります。A香港型が流行すると、インフルエンザによる死亡や入院が増加することが知られているので、特に警戒が必要となります。

③ 今季もインフルエンザワクチン接種を推奨します

ワクチンは、発症予防効果とともに重症化防止効果が期待できます。



④ ワクチン接種が是非必要な人

65歳以上の高齢者、5歳未満のお子さん、そして年齢に関係なく、心臓や肺などに慢性の持病のあるかた、悪性腫瘍で治療中の方、高度の肥満の方です。最近2年間、インフルエンザが流行しなかったため、特に小さなお子さんでは免疫が低下していると思われ、ワクチン接種はとても重要となります。